

大会名： **第73回全日本バレーボール高等学校選手権大会**
福井県代表決定戦



開催日： **2020年10月31日**

会場名： **越前市AW-1スポーツアリーナ**

女子

主 審： **野村 恒人**

副 審： **熊谷 陽**

試合結果

北陸高等学校	3	$\left\{ \begin{array}{l} 29 - 27 \\ 23 - 25 \\ 25 - 22 \\ 23 - 25 \\ 15 - 9 \end{array} \right.$	2	福井工業大学附属 福井高等学校
---------------	----------	---	----------	----------------------------

ゲームレポート

福井県のライバル同士、福井工業大学附属福井高等学校と北陸高等学校の対戦。

第1セットは、終盤まで気を抜けない展開が続く。北陸・出口の強烈なスパイクと、工大福井・山下のライトからのスパイクによる攻撃の応酬が続く。終盤、北陸・酒井のスパイクで工大福井を追い抜き、最後はリベロ赤川の好レシーブから出口が決めて、北陸が1セット目を先取する。

第2セットも序盤から一進一退の攻防が続く。柴崎の活躍で徐々に工大福井が点差を広げる。途中北陸・出口が負傷で途中交代をするアクシデントがあったが、同じ2年生の酒井の活躍で追いつく。出口がコートに戻るも、工大福井が2セット目を取る。

第3セットは第2セットの後半の勢いをもって北陸が序盤からリードをする。工大福井は、両サイドからの攻撃で追い上げるが、北陸・酒井のブロックやスパイクを決める活躍で点差を広げて3セット目を北陸が取る。

第4セットは工大福井・山下と木原の活躍で序盤から点差を広げる。北陸は、森の連続サーブエース、川越のスパイクで追い上げるが、工大福井の強烈なスパイクで第5セットへ望みをつなげた。

第5セットは北陸の多彩な攻撃で点差を一気に広げる。工大福井も柴崎、牧野のスパイクで得点するが、森のサーブにより連続得点を引き寄せ、最後は出口が試合を決め、7年ぶりの春高への切符を手にした。

記載者： **野村 幸史**

福井県バレーボール協会